

NAKAYAMA



■'89ウエストジャパンツーリングカーレース第5戦

速さそのまま、藤本がNP-1で連勝遂げる
越智、NP-4で独走、そして初制覇!



▲オープニングからトップに立った藤本裕之。その走りは輝き、NP-1の雄にふさわしい!

連日の雨からやっと開放され、絶好のコンディションの下で開催されたシリーズ第5戦。この日、第3戦からエキジビジョンで行なわれているN2サニーのレースが、正式に7月1日に開催される、第7戦から組み入れられることが発表された。名称はTSクラス、レギュレーションは鈴鹿のN2クラスに準じている。なおB310の他、KP61も出走可とのことだ。

NP-1クラス

藤本が2連勝!

ブランクなんて関係なし

このレースでまず注目されたのは、唯一の女性レーサー坂本美紀代が予選5位からスタートすることだ。着々と実力を伸ばしてきただけに、決勝にも期待がかけられたが、1周目に大きく順位を落としてしまい、9位でゴール。しかし、今後の活躍を大いに期待したいものである。

一方、トップ争いに目を移すと、ポールシッターの黒住和宏を抑えてスタートを制したのは、2

列目から飛び出した藤本裕之。続いて黒住、藤原一久、引口茂春、この4台がトップグループを形成する。3周目に引口が藤原をかわすが、次の周で今度は藤原が引口を抜き返す壮絶な3位争いも見られた。

しかし、この後は藤本、黒住、藤原が等間隔でラップを重ね、最後までこのままの順位でチェック。藤本は第4戦に続いて2連勝を飾った。

FL-Bクラス

前田不調でまたまた……青木に勝利が

予選で唯一1分07秒台をマークした青木健一郎がポールポジション。以下中西克良、岡元克弘、土生田勝正と続き、5番手に今回絶不調の前田照文がつけた。

レース序盤にひと波乱。最後尾スタートの鏡戸博文がスタートできずにリタイア。好スタートを切った前田が1周目の1コーナーで杉田尚久と接触し、スピンアウトして最後尾になってしまう。これで楽になった青木は、誰にもおびやかされる



▲序盤の2位争い。黒住和宏と藤原一久が競い合う! ことなく33勝目を獲得。2位には中西が単独走行で入った。

このレース一番の接戦は岡元と土生田の3番手争い。3周目に土生田が岡元をかわすが、岡元は土生田のテールにピッタリはりつきチャンスをかかす。再び岡本がしかけたのは最終ラップの最終コーナー。ブレーキングをギリギリまで遅らせて土生田のインをつき、0.23秒差で岡元が3位でゴールした。前田は中盤から原因不明の振動に悩まされ、5位をキープするのがせいっぱい。

NP-2クラス

前回の雪辱戦。

堀ノ奥州は、堀が逃げ切って4勝目をマーク!

フロントローには、いずれ劣らぬ強豪2人が軒を並べた。インに堀紀弘、アウトに前回の覇者、奥州康彦。決勝でもこの2人を中心にラップが重ねられていった。抜群のスタートを見せた堀が、奥州を抑えてトップをキープ。前回、奥州に連勝記録をストップさせられたカタキを討つかのように、一切つけ入る隙を与えず、それどころか堀はじわじわとリードを広げていった。

結局、5秒のマージンを保って堀が奥州を破り、前回の雪辱を果たして今季4勝目。3位にはスタートでの出遅れを取り戻した野村守彦がつけている。

NP-4クラス

衣笠の連勝風んで越智が初勝利!

参加台数は少ないが、タイム差の少ない非常に迫力のあるレースが展開された。予選では越智岳彦を筆頭に藤田博久、衣笠勝人が僅差で続き、この3人が1分09秒台をマークしている。

衣笠がスタートダッシュを決め、トップで1コーナーを駆け抜けた。続いて越智、そして最後尾スタートの金子昌裕がジャンプアップを見せ、3番手についている。しかし、1周目から衣笠と越



▲スタートから一気に飛び出し、青木健一郎がFL-Bでいつものように独走で勝った



▲土生田勝正と岡元克弘が3位争い。最後に岡元がかわす!